

# H29年度 愛臨技 血液検査研究班

## 研究会アンケート

日時：平成29年5月20日（土）15:00～17:00

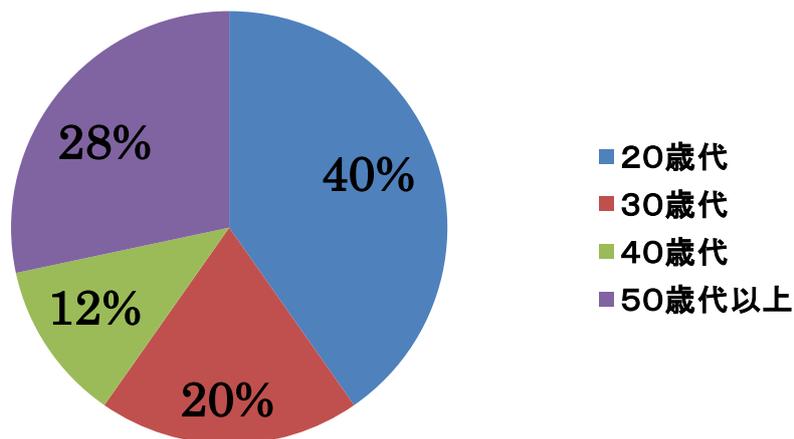
場所：名古屋大学医学部 第I講義室

テーマ：1 採血室の運用管理「患者満足度を上げるには」

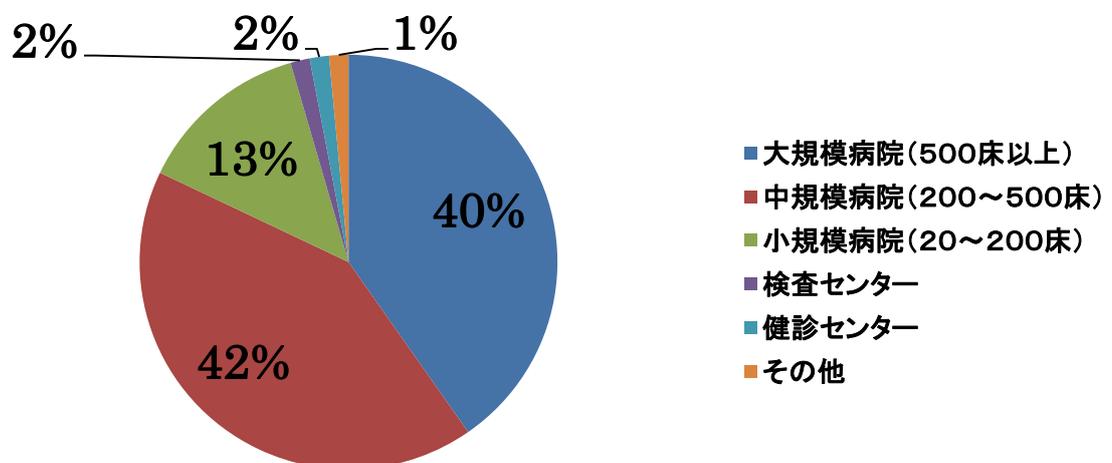
2 体腔液とは何？検体の扱い方から標本（細胞）の見方・考え方まで

アンケート回収率：81.0%（66/81枚）

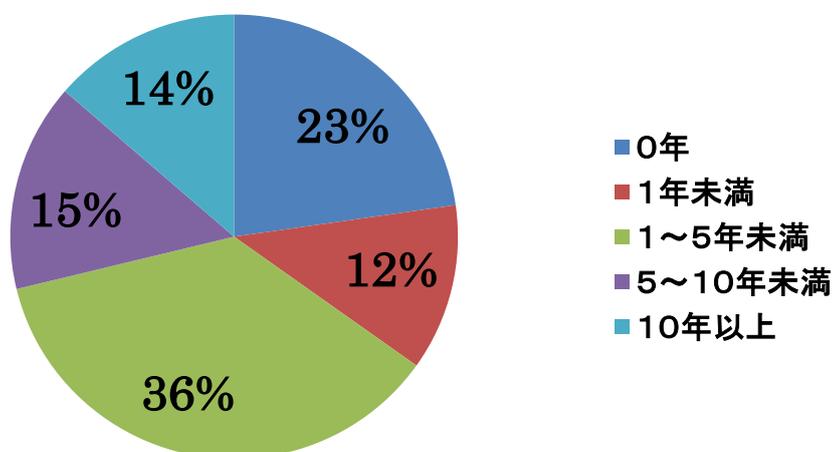
### 1. 参加者の年齢を教えてください



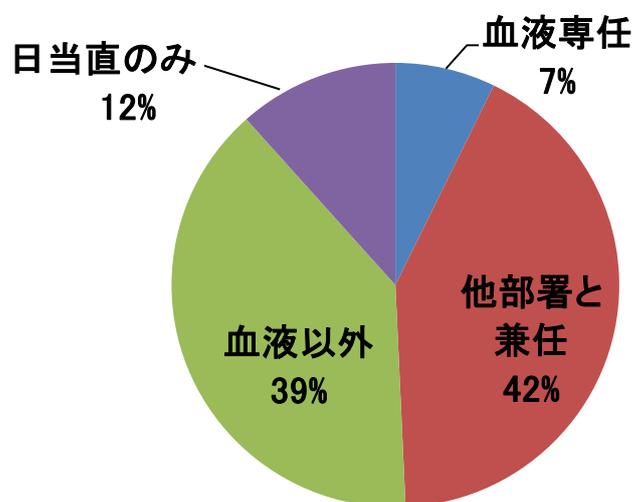
### 2. 勤務先の規模を教えてください



### 3. 血液検査に携わってどれぐらいですか

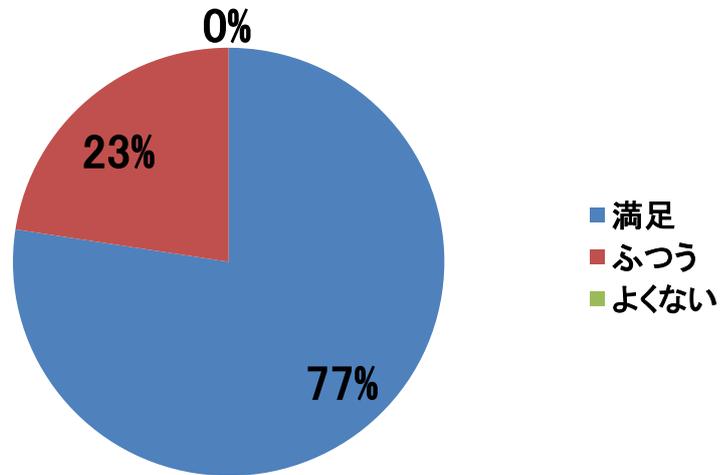


### 4. 現在の所属を教えてください



## 5. 本日の研究会はどうでしたか

### 講演1



\* 明確でわかりやすかった。

\* 普段なにげなく行っていた採血での不安や疑問点がはっきりわかった。他施設での運用が参考になった。

\* 日常的に起こりうる場面についての説明がよかった。

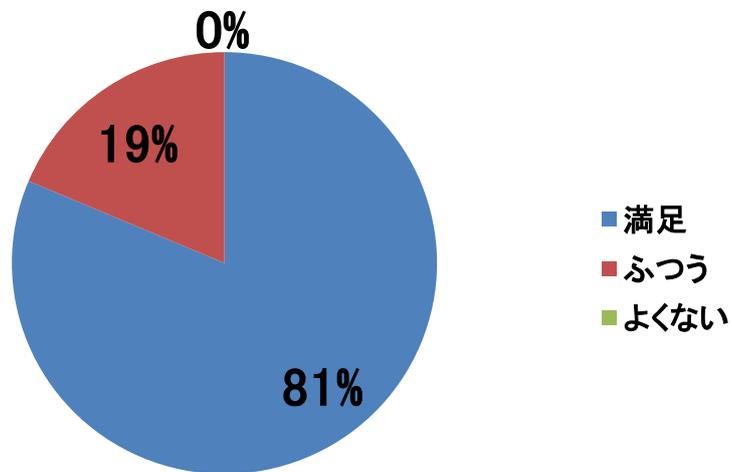
\* 知りたい内容だった。新人に伝えていない事項に気づけた。

\* 自施設と同じようなことをしていると再確認できて自信になった。

\* 採血をしているので為になった。

\* 現在検査技師が採血をメインでやっている為参考になった。

## 講演2



\*ためになった。

\*日当直でしか体腔液を扱わないので、細胞診よりで少し難しく感じた。

\*細胞診レベルで鑑別が難しいと感じた。

\*少し分かりずらかった。形態解説はわかりやすかった。

\*形態が苦手なので為になった。

\*体腔液のカウント方法が決まっていなかった。今まで100カウントだったのでこれからは300~500カウントしたいと思った。

## 6. 今後参加してみたいまたは、企画して欲しい内容

- ◇ 実習形式
- ◇ 鑑別に悩む細胞の鑑別ポイント
- ◇ 顕微鏡を用いた実技講習
- ◇ アンケート結果の内容
- ◇ 体腔液像の見方
- ◇ 鏡検実習
- ◇ マルクの見方とポイント
- ◇ リンパ表面抗原について
- ◇ 他の研究班とのコラボ、例えば輸血班
- ◇ FCM のゲーティングについて、見方と検査のコツ
- ◇ 血算項目の共用基準範囲使用について（単位）
- ◇ 血液像の症例報告を定期的を実施
- ◇ 結果の見方
- ◇ 血算での注意すべきデータ
- ◇ 検体凝固・乳び・溶血の影響
- ◇ 血算データの見方
- ◇ 初心者向けのフローサイト、結果の見方・解釈など基礎的なこと
- ◇ 遺伝子検査の結果の見方とポイント
- ◇ 異型リンパ球と異常リンパ球
- ◇ 骨髓像で分類困難な細胞の分類方法
- ◇ 血液像（初心者向け）
- ◇ 凝固検査、血算の見方